

◎小学生が「自然の美しさ」「神秘さ」「生命の大切さ」を学習

～国営備北丘陵公園でピオトープ観察会とフジバカマの植樹を実施します～

概要

○国営備北丘陵公園では小学生の総合的な学習として「ピオトープ観察会」を開催しています。今年度も、庄原市立東小学校の3年生32名と庄原市立高小学校の4年生11名の皆さんが参加し、第1回目の観察会を開催します。

○ピオトープ観察会は、自然の美しさ、神秘さに触れ、「生命」の大切さを学ぶことの出来るプログラムとなっています（詳細は別紙参照）。

○観察会では、植物や生物に関する専門の講師が理解し易く説明し、生徒の皆さんから観察会を通じて学んだ事、気付いた事などについて発表してもらいます。

○今回の観察会では、国営備北丘陵公園内に再びアサギマダラがやってくることを期待して、成虫の食草であるフジバカマを児童自らが植樹します。



【観察会の様子】



【フジバカマ】

【日時】

平成22年6月8日（火）雨天決行
 （庄原市立東小学校）
 10:30 観察会開始
 11:05頃 ピオトープ観察
 （庄原市立高小学校）
 13:30 観察会開始
 14:05頃 ピオトープ観察

【参加小学校】

庄原市立東小学校（3年生32名） 庄原市立高小学校（4年生11名）

お問い合わせ

■ 国土交通省中国地方整備局三次河川国道事務所

副 所 長（公園担当） 元山 勉（もとやま つとむ）
 【担 当】公園課長 山口 克己（やまぐち かつみ）
 TEL 0824-72-5000 FAX 0824-72-7532 （国営備北丘陵公園分室）

【広報担当】 調査設計課長 丹後 浩一（たんご こういち）
 TEL 0824-63-4121 FAX 0824-64-2240 （代表）

第 1 回ビオトープ観察会詳細スケジュール

日時 2010 年 6 月 8 日 (火)

10 : 30 ~ 10 : 40 (13 : 30 ~ 13 : 40) 参集殿にて

- ◇ 先生の紹介
- ◇ スケジュールと注意事項

10 : 40 ~ 11 : 00 (13 : 40 ~ 14 : 00)

- | | | |
|----------------------------|---|----------|
| (1) 備北丘陵公園の歴史・ビオトープとは何か | } | 梶岡 (5 分) |
| (2) 「きれいだね!不思議だね!何故?どうして?」 | | |
| (3) 「ありと植物」 | } | 伊藤 (5 分) |
| (4) 「ササユリの話」 | | |
| (5) 「昆虫とは何か」 | } | 神垣 (5 分) |
| (6) 「アサギマダラという渡りチョウについて」 | | |
| (7) 「ホタルの話」 | | |

11 : 05 ~ 11 : 35 (14 : 05 ~ 14 : 35) 現地にて

- (8) フジバカマ植樹 ← **撮影ポイント**
- (9) ビオトープ現地観察
- (10) 「何かを発見しよう」

11 : 40 ~ 12 : 00 (14 : 40 ~ 15 : 00) 参集殿にて

- (11) 『気づきや今日調べたこと学んだことの発表』
- ・ 何人かの生徒が発表



※ () が付いていない時間は東小学校のスケジュールで、() 内に記載されている時間は高小学校のスケジュールを示す。

【渡蝶「アサギマダラ」について】

観察会では、日本本土から南西諸島、さらには台湾までの大規模な移動(渡り)を行う蝶として知られるアサギマダラについて学習を行います。

アサギマダラは夏から秋にかけて日本本土を南下し、繁殖した子孫が春に北上する渡蝶で、成虫の羽に放蝶者の名前や連絡先などを記入(マーキング)し固体識別を行うことによって行動経路が解明されています。

平成20年11月には、国営備北丘陵公園内で長野県でマーキングされたアサギマダラが発見され、中国山地沿いでは初となる飛行ルートの確認を行うことができました。

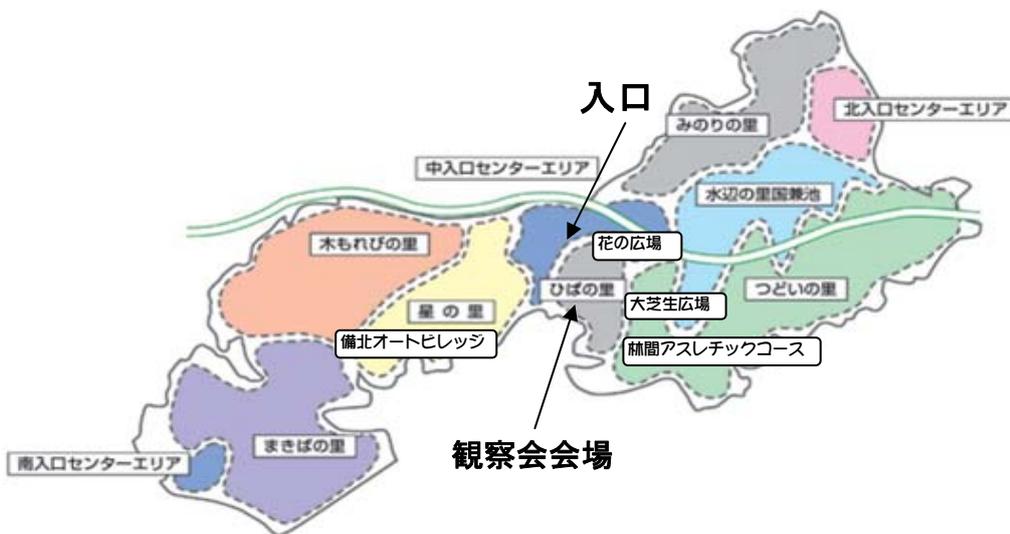


【アサギマダラ】

会場図



ビオトープ観察会会場



国営備北丘陵公園全園図